

学級：みつばち学級 4・5・6年 授業者：小島 奈々

主題名 正しいと思ったことを行う【善悪の判断、自律、自由と責任】

教材名 「よわむし太郎」

お話のあらすじ

ある村に「よわむし太郎」と呼ばれる男がいた。太郎は背が高く、人一倍力が強いのに、村の子どもたちにどんなに馬鹿にされてもにこにこしていた。ある日、狩りが好きな殿様が池にいる白い大きな鳥を射ようとする。それを見つけた太郎は殿様の前に立ちはだかり、「大切に世話をしている子どもたちが悲します。助けてやってください。」と涙ながらに頼むと、殿様は鳥を射るのをやめ、城に帰って行った。その日から、誰も太郎のことを「よわむし太郎」と呼ばなくなった。

授業で大切にしたいこと

役割演技をとおして、よわむし太郎の気持ちになりきって正しいことを自信をもって伝えることの大切さを理解できるようになります。

ご家庭で話し合っていただきたいこと

正しいことや正しくないことについて話し、自分で判断し、区別できるようご家族が、正しいことを進んで行い自信をもった経験を話していただければと思います。